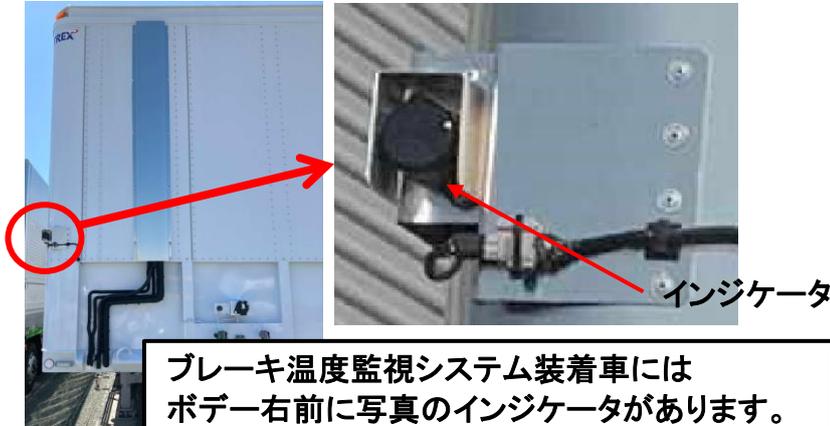


ブレーキ温度監視システム装着車両の温度センサー破損注意!

ブレーキ温度監視システム装着車は、ブレーキシューに温度センサーが取付けられている為に、**ブレーキシュー脱着前にブレーキシューから温度センサーを外して下さい。**
温度センサーを外さずにブレーキシュー外した場合、**温度センサーを破損**させます。
12ヶ月毎にブレーキシューを脱着してシューローラのグリス給脂が必要です。

①ブレーキ温度監視システム装着車の見分け方



⚠ 整備担当の皆さんへ【警告】

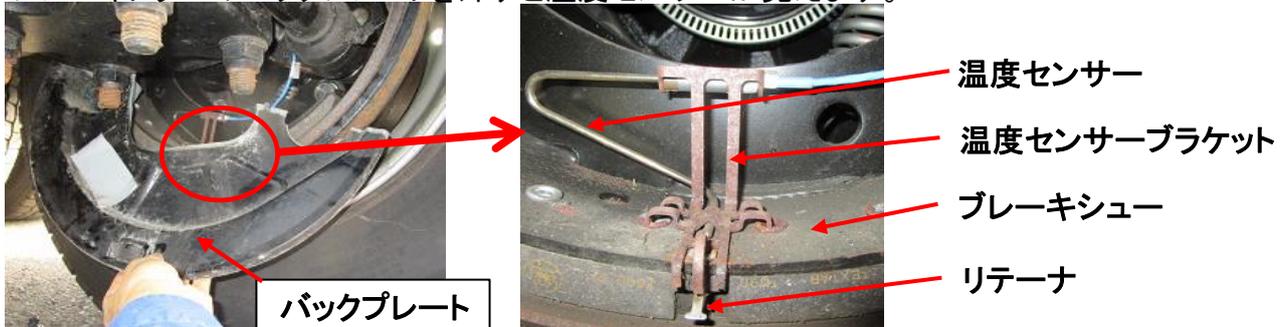
本車両のブレーキには温度センサが装着されております。
ブレーキ整備の際は必ず温度センサを外してください。
復元の際は必ず温度センサを取り付けてください。

DENSO トレーラブレーキ温度監視システム

車体には上記ステッカーがあります。

②ブレーキ温度監視システム 温度センサー取付位置

ブレーキドラムのバックプレートを外すと温度センサーが見えます。



③不具合事例

センサー破損



**先にブレーキシューを外して
しまうと温度センサーの
ケーブルを痛めます。**

④お願い

- ブレーキシューを外す前にバックプレートを外し、ブレーキ温度監視システムの温度センサーをブレーキシューから外して下さい。その後、ブレーキシューを外して下さい。
- 点検整備後はブレーキ温度監視システムの温度センサーの取付を忘れずに実施して下さい。

- ◆車軸の整備方法は、「BPW車軸整備要領書」に沿って実施をお願いします。温度センサーの脱着方法は、「DENSOトレーラブレーキ温度監視システム取扱説明書」に沿って実施をお願いします。
- ◆脱着時のポイントを2ページ以降にまとめましたので、参照下さい。

車検整備時のブレーキ温度監視システム温度センサー脱着要領

トレクスBPW車軸は車検毎にブレーキシューを外してシューローラーのグリス給脂が**必要**です。

⇒詳細はトレクスホームページ-サービス情報-整備マニュアルダウンロード-「BPW ECO軸整備要領書」を参照下さい。

- 5 12ヶ月毎にシューローラーベアリングにBPW耐熱グリスECO-LiPlus (4g)を塗布する。
- ・分解清掃して、砲金プッシュ内面に塗布する。
 - ・ピンに錆があるものは交換する。
 - ・リング切れ口が開いているものは交換する。
- ☆ライニング交換にはシューローラーベアリングキット(ピン、ローラ、ロックリング)を交換する。

注意 グリス塗布を怠ると、ブレーキシューの戻り不良になり、ブレーキ引き摺りに繋がる。

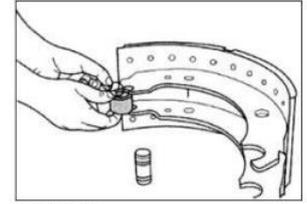


図. 3-3-5



ピン 切れ口 砲金プッシュ (ロックリング)(ローラ)

トレクス
BPW ECO軸
整備要領書
2022
12ページ抜粋

12

ブレーキ温度監視システム装着車はブレーキシュー脱着時に温度センサー脱着する**必要があります**。

⇒詳細は「DENSOトレーラブレーキ温度監視システム取扱説明書」を参照下さい。
右の2次元コードから参照下さい。

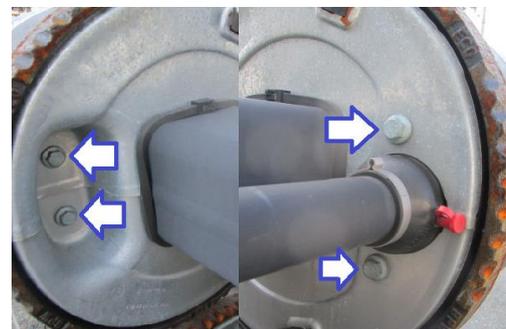


- ①ブレーキドラム取外し ※先に温度センサーを脱着しても大丈夫です。
- ②ブレーキドラムのバックプレート取外し

20インチドラムの場合はリターンズpring 1個とボルト2本で固定されています。



15インチドラムの場合はボルト4本で固定されています。



i) リターンズpring取外し(上側バックプレートから外す)



ii) 取付けボルト2本を13mmの6角ソケットで外す。



ショートソケットのみでは、ABSセンサーを痛めてしまうので13mm6角ソケットにショートエクステンション接続して工具を逃がして下さい。



iii) バックプレートを取外す

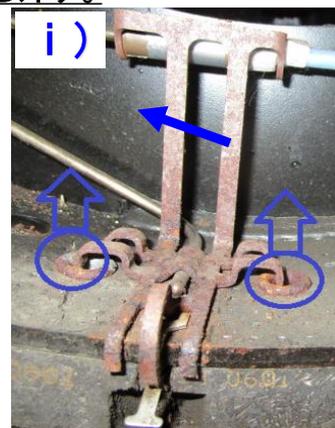


バックプレート(下側)を外すと温度センサーが見えます。



③ブレーキ温度監視システムの温度センサーをブレーキシューから外す。

- i) 温度センサーブラケットの固定爪をブレーキシューリベットから浮かせる様に斜めに持ち上げる。
- ii) 温度センサー、ブラケット、リテーナーを一体でブレーキシューから引き抜く。



④ブレーキシュー脱着等車検整備を行う。

⑤ブレーキ温度監視システムの温度センサーをブレーキシューに取り付ける。

i) 温度センサーブラケットとリテーナーの定期交換時期を確認する。



ブラケット交換時期：2年ごと
取付日： 年 月 日
DENSO トレーラブレーキ温度監視システム

温度センサーブラケット



リテーナー



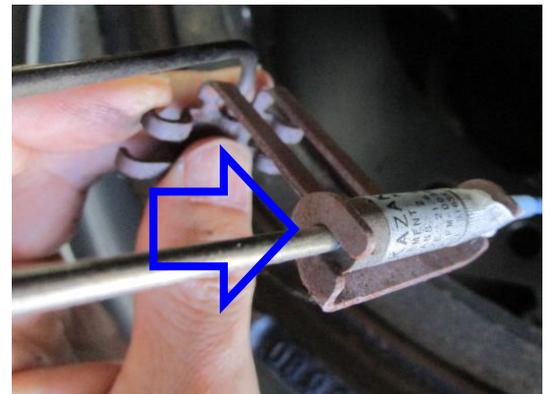
※温度センサーブラケット(トレクス部品番号913050-00015)とリテーナ(トレクス部品913050-00016)は**2年ごとの定期交換部が必要です。**

ii) 温度センサーブラケットやリテーナーに変形や破損がないか点検する。
※変形や破損がある場合は交換します。

※右写真の場合は1年目で変形がない為再使用します。

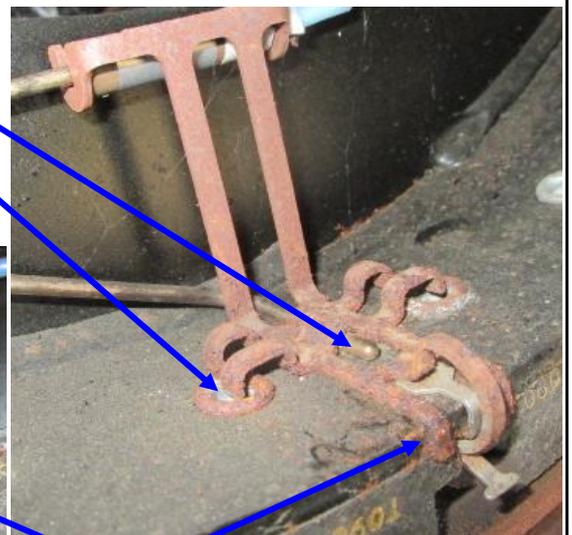


iii) 温度センサーが温度センサーブラケットに奥まではまっていることを確認する。
※右写真矢印部に隙間がないことを確認する。



iv) 温度センサー、温度センサーブラケット、リテーナーを一体にてブレーキシューに取り付ける。

温度センサーとブレーキシューが密着すること
ブラケットの脚をリベット穴に差し込む



※詳細は「DENSOトレーラブレーキ温度監視システム取扱説明書」を参照下さい。

隙間が無い様に奥まで押込む

v) バックプレート(下側)にリターンズpringを取付ける。



vi) バックプレート(上側)(下側)を取付け、
取付ボルト(M10×1.5×15L-8.8)を仮締めする。



vii) リターンズpringで2枚のバックプレートを固定する。



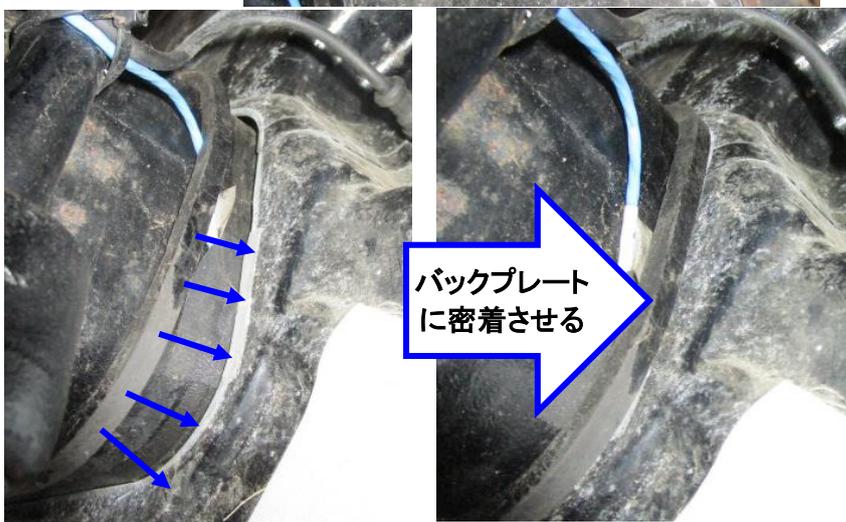
viii) 取付ボルト(M10×1.5×15L-8.8)を本締めする。

※規定トルク 43Nm



ix) 車軸の水切りゴムを
(部品番号917150-00237)
指で押してバックプレート
に密着させる。

※年式によっては水切りゴムの
取付が無い車軸もあり
ます。



本紙に関するご質問等は日本トレクス株式会社サービス部まで。(TEL:050-3367-7494 FAX:0533-78-3137)

日本トレクス株式会社

サービス部

承認



審査



担当

